



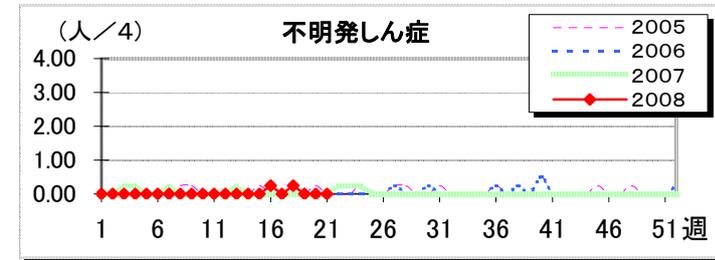
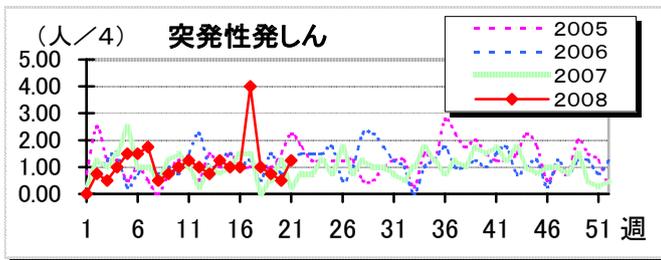
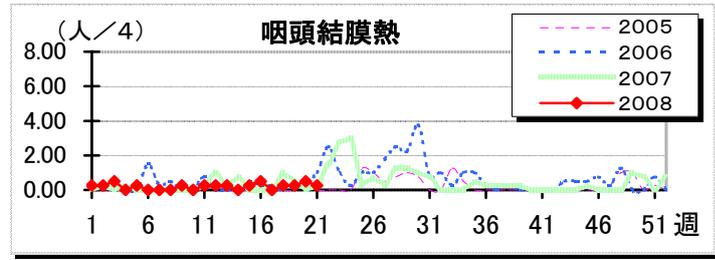
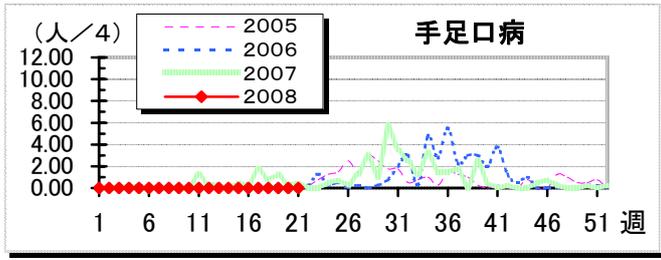
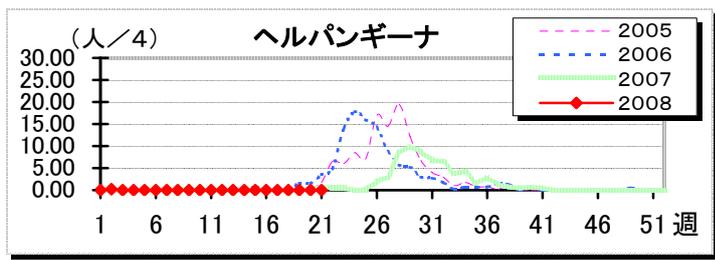
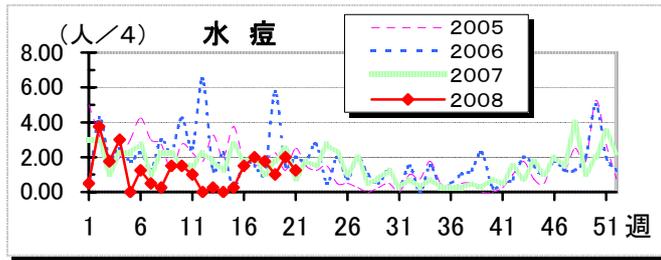
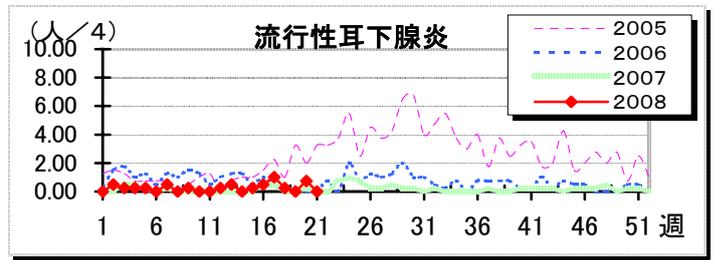
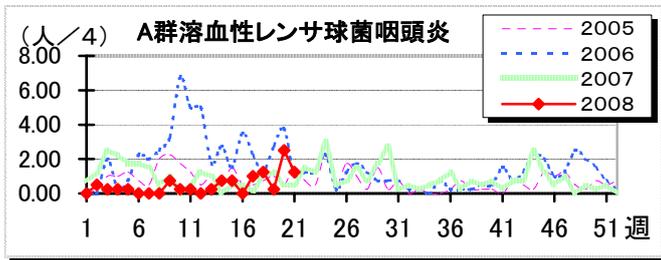
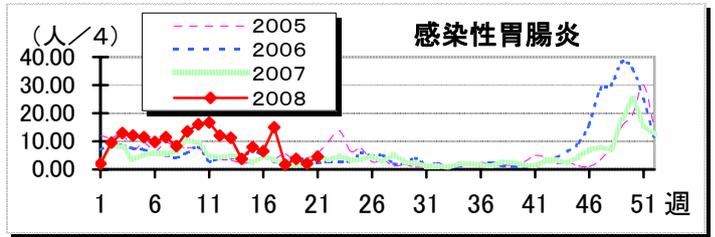
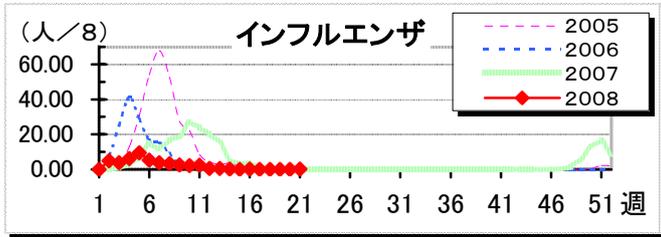
Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／北区感染症週報

2008年20-21週(5月12日～5月25日)

東京都北区保健所 保健予防課 結核感染症係 電話 (3919)3101

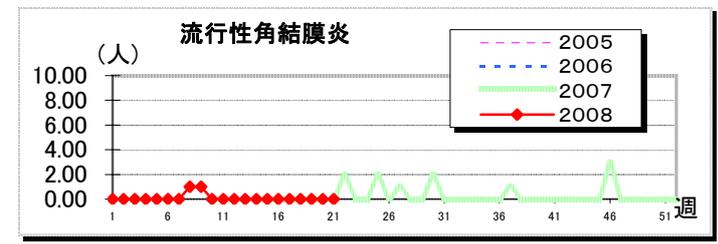
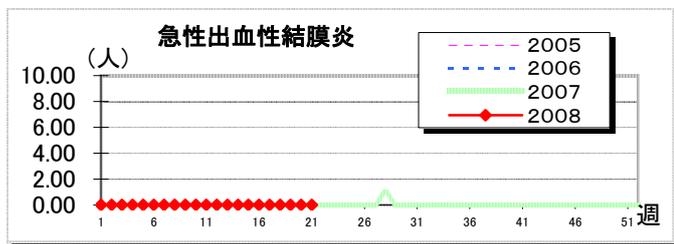
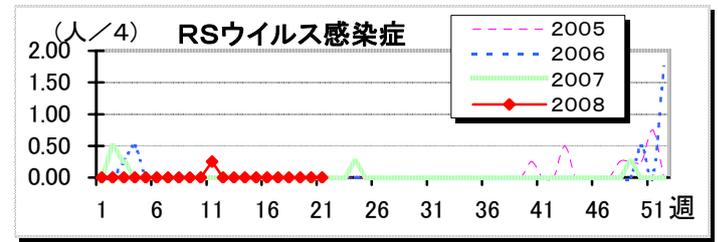
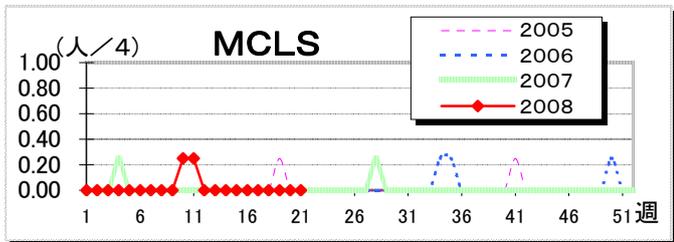
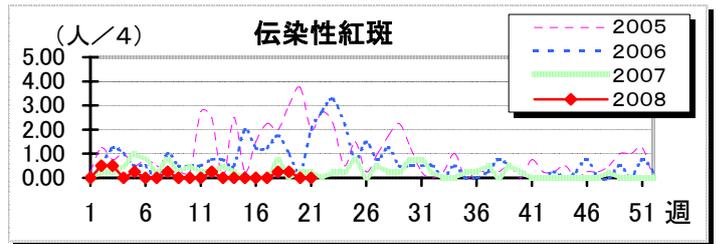
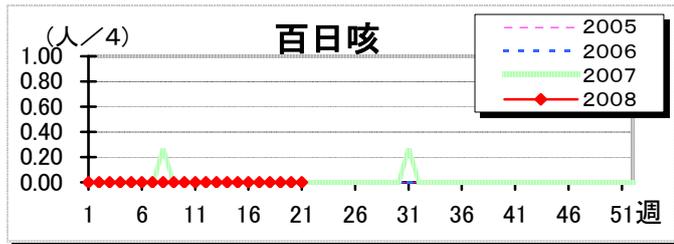
1 北区感染症サーベイランス (4年間の北区一定点医療機関あたり報告人数)



今週のコメント (第20-21週)

■ 今週は内容が多く紙面を分けたので別紙をご参照ください。

※「麻しん」、「風しん」は2008年1月から全数把握対象疾患【5類感染症】になりました。



疾病別の<北区>定点医療機関数

疾病	医療機関数	疾病	医療機関数	疾病	医療機関数
インフルエンザ	8	手足口病	4	急性出血性結膜炎	1
不明発しん症	4	伝染性紅斑		流行性角結膜炎	
MCLS		突発性発しん		性感染症	1
咽頭結膜熱		百日咳			
A群溶血性レンサ球菌		ヘルパンギーナ			
感染性胃腸炎		流行性耳下腺炎			
水痘		RSウイルス感染症			

※ 最近3週間の北区一定点医療機関あたり報告人数 (区内定点からの全報告人数/北区定点医療機関数)

	不明発しん症	MCLS	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
19週	0	0	0	0.25	0.25	3.75	1	0	0.25	0.75	0	0	0	0	0	0
20週	0	0	0	0.5	2.5	2	2	0	0	0.5	0	0	0.75	0	0	0
21週	0	0	0.13	0.25	1.25	4.5	1.25	0	0	1.25	0	0	0	0	0	0

2 北区内の医療機関からの麻しん、風しんの届出数

	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	2008年累計
麻しん	0	0	0	2	1	0	2	1	19
風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律から、最近の感染症発生動向を送付いたします。東京都および、厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

- 東京都感染症情報センターのホームページアドレス
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j.html>
 - 厚生労働省/国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
- (別紙) 定点把握対象疾患報告数【保健所別】、【年齢階級別】

今週のコメント(第20-21週)

- 都内の百日咳患者数は、2008年第20週(5月11日～5月18日)に0.07人/定点となり、一部の保健所管轄地域では警報レベルの1.0人/定点に達しています。今年1月以降に報告された患者のうち約半数は20歳以上であり、区内の大学1校では百日咳の集団発生が確認されています。区内の定点からの報告はありませんが、いっそうの注意が必要です。乳幼児が感染した場合は重症化することが多く、ときには死にいたることがあるので、ワクチンは確実に受けさせておいてください。成人においては、乳幼児に感染させることのないよう、咳エチケットを守るとともに、咳が長びくと感じたら百日咳を念頭に早めに医療機関を受診してください。詳しくは、東京都感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/pertussis/index.html>
- 区内施設の2施設でノロウイルスによる集団での感染が発生しました。北区及び全国レベルでの発生数は減少していますが、例年と比較すると依然として多い状況であり、突発的な集団発生が今後も予想されますので、注意が必要です。感染予防対策として、日常的に、外出後や食事の手洗い・うがいを徹底しましょう。吐物や排泄物の処理時にも注意が必要です。詳しくは、東京都感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/noro/index.html>
- 麻しんは、例年、春から初夏の本格的な流行シーズンです。北区では、第20週に2例、第21週に1例の報告がありました。週毎の増減はありますが、全国的にも増加傾向にあり、嚴重な注意が必要です。麻しんの感染経路は、空気感染、飛沫感染が主で、免疫を持っていない人が感染すると90%以上が発症します。従来小児期に感染することが多かったのですが、最近は10代、20代以上での感染が多く見られ、大学を含めて学校閉鎖が相次ぐなど、社会的にも問題となっています。未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。
- 麻しん風しん混合ワクチンは平成18年度から2回接種になりました。第1期(1歳児)と第2期(5～7歳未満で小学校に就学する前の1年間)の2回の接種を受けましょう。
～麻しん風しん混合ワクチンを1歳の誕生日のプレゼントに！
小学校入学準備に2回目の麻しん風しん混合ワクチンを！～
- 麻しん対策として、平成20年4月より5か年間の時限措置で、中学1年生相当および高校3年生相当の年齢に達する方を対象に、麻しん風しん混合予防接種(MR)3期・4期が定期予防接種として実施されることになりました。これは麻しんおよび風しんの免疫強化を目的としたもので、過去に1回だけ接種する制度の時期に接種した方に対して2回目の接種の機会が設けられたものです。
- また、2歳から18歳の年齢の方で、麻しんに今までかかっていなかった人でワクチンも接種していない方、小学校1年生・2年生で第2期を未接種のままの方は、任意でワクチンの接種を受けることができます。その際、費用に関しては公費で負担いたします。詳しくは、北区のホームページをご覧ください。<http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>
- 熱が出て学校をお休みし、医療機関に行った結果麻しんと診断された生徒の保護者の方は、欠席理由として麻しんと診断された旨学校に連絡するようにしましょう。

(参考) 北区内の医療機関からの麻しん、風しんの届出状況【グラフ】

